

「(一より続く)
この至難のものであり間違。」
初回の「(一より續く)」は、この「至難のもの」としての「間違」を示すものである。
そこで、この「間違」の意味を、本章の「間違」の意味と並んで、他の「間違」の意味についても、その意味を解説する。
まず、冒頭の「(一より續く)」の意味について、本章の「間違」の意味と並んで、他の「間違」の意味についても、その意味を解説する。
つまり、本章の「間違」の意味と並んで、他の「間違」の意味についても、その意味を解説する。
つまり、本章の「間違」の意味と並んで、他の「間違」の意味についても、その意味を解説する。

昭和27年度 小田原市歳入歳出予算			
款	目	予算額	予算額に對する千分比
市	税	178,271,266	議会費 9,918,353
地方財政	一般支度金	20,000,000	市役所費 63,041,358
市	支度金		警備費 57,748,865
企業公金	公債償還	36,469,655	土木費 42,971,800
	貢		貿易費 22,592,260

使 用 費 及 付 料	10,010,960	支 出 額	33,079,500
手 料	50,783,444	其 他 会 社 及 外 部 事 務 費	52,426,006
国 庫 支 出 金	10,400,244	勞 動 衛 生 保 障 費	14,125,252
共 益 附 出 金	3,530,000	業 務 經 費	11,722,886
寄 附 收 入	8,028,705	其 他 費 用	6,905,436
總 市 債	7,800,000	財 產 費	2,931,026
		統 計 調 查 費	807,394
		營 業 稅 費	1,193,734
		公 債 費	12,289,864
		諸 支 出 金	14,205,470

